

Be with all

「多様な人々が生きる社会の実現を目指す」



SON×B.LEAGUE

B.LEAGUE FINALS の舞台上で共にメッセージを発信！

「Be with all」 「#届けバスケット」

Special
Olympics
Nippon



B.LEAGUE
Hope

日本生命 B.LEAGUE FINALS 2020-21 にて、SON と B.LEAGUE Hope が「Be with all」と「#届けバスケット」の想いを込めた”モザイクアート”を披露

スペシャルオリンピックス日本（SON）では、さまざまなイベントやスポーツ競技会の中止や縮小を余儀なくされ、知的障害のあるアスリートがスポーツの場を失いましたが、「Be with all」という新スローガンを掲げ、スポーツでつながり、みんなで未来へ進んでいこうという決意のもと、前へ進んでいます。

また、B.LEAGUE も 2020 年 3 月に苦渋の決断で 2019-20 シーズンの中止を決めるなど厳しい状況があった中、リーグとクラブ、選手、スタッフ、ファンの方々が一体となって、2020-21 シーズンを成立させ、「日本生命 B.LEAGUE FINALS 2020-21」の実施を迎えました。

共にこの苦境を乗り越えて、「みんなが輝き、誰ひとり取り残さない社会、未来」を創り上げていくために、SON の新スローガン「Be with all」と、試合を通じて日本を元気にするという B.LEAGUE のメッセージ「#届けバスケット」、スポーツでつながって、前へ進むという双方の想いをのせた絵を募集し、ひとつのモザイクアートを完成させました。

そして、「日本生命 B.LEAGUE FINALS 2020-21」の舞台上、完成したモザイクアートを披露しました。

ハーフタイムショーでは、完成したモザイクアートのフラッグを有森理事長から B.LEAGUE の島田チェアマンに贈呈し、このモザイクアートの意義、B.LEAGUE との取り組みについてのメッセージを有森理事長から会場の観客の皆様へ届けました。

また、会場のブースエリアには特大のモザイクアートを展示いただき、多くの方に「Be with all」と「#届けバスケット」の想いを届けることができました。

これからも SON と B.LEAGUE はどんな困難な状況でも、スポーツでつながり、「誰ひとり取り残さない」「Be with all」社会の実現に向けて、協働していきます。



Be with all

【完成したモザイクアート】



集まった絵の枚数



214 枚 (アスリートをはじめとした SON の関係者の方、2020-21 シーズンにおける B1、B2 全クラブのキャプテン、その他一般の方からお送りいただきました。)

参加者の声



- ・さまざまなイベントが中止になる中、今回この企画に参加出来て嬉しかったです。
- ・ステイホーム中だったのでこのような企画があつて、楽しい気持ちになりました。
- ・このようなコロナ禍の中、参加できるイベントがあつて嬉しかったです。ありがとうございました。
- ・久しぶりのぬり絵で嬉しかったです。また、誰でも参加しやすいイベント企画で嬉しいです。
- ・みんな大変な時期、少しでも元気を届けることに参加できて良かったと思いました。
- ・これからもいろいろなキャンペーンを実施してほしいです。
- ・今後もスペシャルオリンピックスと B.LEAGUE の協和が出来れば良いと思います。

【会場の様子】



【ブースエリア】



Be with all

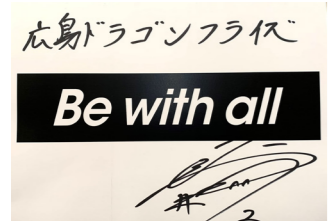
【皆さまからお送りいただいた絵 ※一部抜粋】



三遠ネオフェニックス
Be with all



ライジングゼファ・フワオカ
Be with all



広島ドラゴンフライズ
Be with all



B.LEAGUE Hope
Be with all



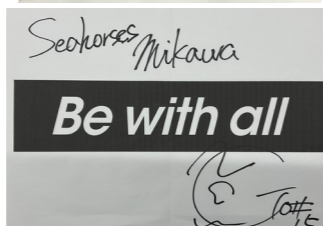
愛媛オレンジワイザーズ
Be with all



宇都宮ブレックス
Be with all



バンビシャス奈良
Be with all



Yokohama B-CORSAIRS
Be with all



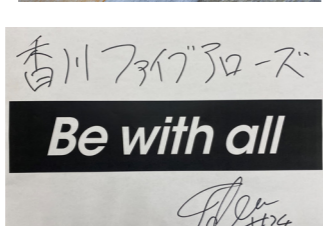
Shinshu Brave Warriors
Be with all



Yokohama B-CORSAIRS
Be with all



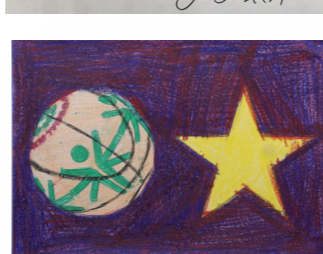
サンロッカーズ渋谷
Be with all



香川ファイブアローズ
Be with all



西宮ストークス
Be with all



Be with all

SONとB.LEAGUEのつながり

SONは2018年に、公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ(B.LEAGUE)の社会的責任イニシアティブである「B.LEAGUE Hope」とユニファイドスポーツを通じたインクルージョン社会の実現を目指し、パートナーシップを締結しました。

毎年、B.LEAGUE FINALの舞台上、SONとB.LEAGUEはバスケットボールのユニファイドエキシビジョンマッチを披露するなど、ユニファイドスポーツを通じたインクルージョン社会の実現を発信してきました。

2018年

横浜アリーナで開催された B.LEAGUE FINAL 2017-18 の試合前のコートで
パートナーシップ調印式とユニファイドバスケットボールの
スペシャルゲームも実施しました。

https://www.bleague.jp/b-hope_detail/id=38371

2019年

横浜アリーナで開催された B.LEAGUE FINAL 2018-19 の試合前に
スペシャルオリンピックス日本のバスケットボールチームと
豪華バスケットボールレジェンドによるユニファイドエキシビジョンマッチを実施しました。

https://www.bleague.jp/b-hope/final_2018-19/

2020年

北海きたえーるで開催された B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2020 in HOKKAIDO で、
スペシャルオリンピックス日本の活動についての PR を実施。

<https://www.facebook.com/so.nippon/posts/2853082348070104>

2021年

スペシャルオリンピックス日本の有森理事長と B.LEAGUE の島田チェアマンが

「コロナ禍におけるスポーツ」をテーマに対談

https://www.bleague.jp/b-hope_detail/id=86292